

「夏かぜ（ヘルパンギーナ）・ 都内で急増

八雲総合病院 小児科でも！！

YIC ブログでも取り上げた夏風邪【ヘルパンギーナ】

「ヘルパンギーナ」は、毎年、この時期に流行する子どもの夏かぜの一種で、ヘルパンギーナにかかった人の咳やくしゃみ、つばなどのしぶきに含まれるウイルスによって感染します（飛沫感染）。また、水疱の内容物や便に排出されたウイルスが手などを介し、口や眼などの粘膜に入って感染します（経口・接触感染）。患者さんの便の中にはウイルスが含まれますので（2～4週間）、トイレの後やおムツをかえた後、食事の前にはしっかりと手洗いが重要です。

では、夏風邪の特徴を

ヘルパンギーナ



ワクチン.netより

手足口病



ワクチン.netより

プール熱（咽頭結膜熱）



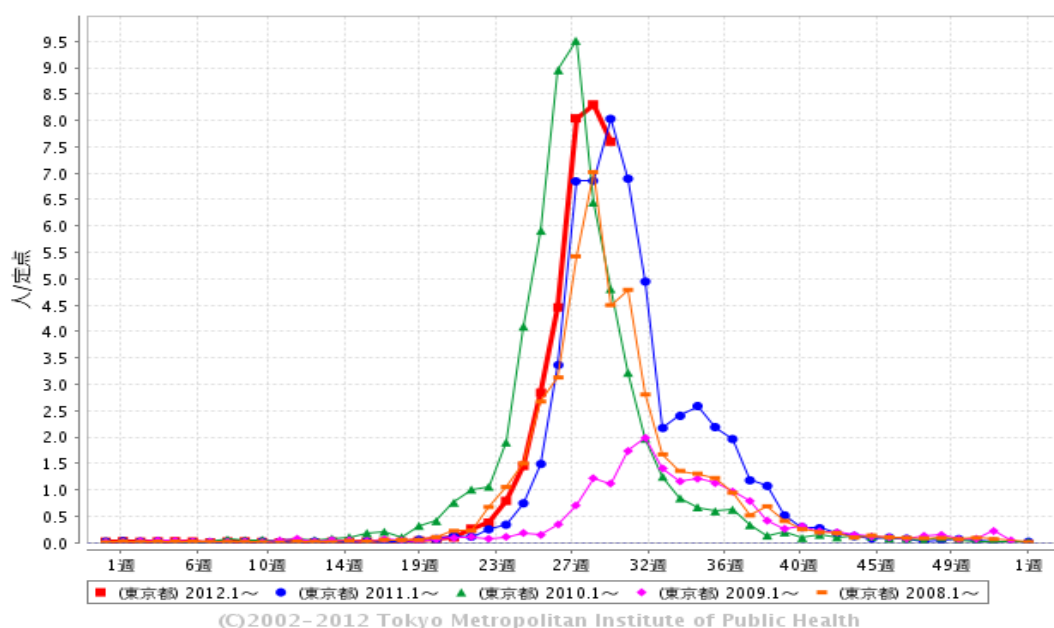
ワクチン.netより

(画像 ワクチン.net フリーイラストより <http://www.wakuchin.net/sozai.html>)

ヘルパンギーナ	突然38～40度の高熱を発し、続いて喉が痛くなり、口腔内に赤みを伴った小さな水疱ができます。
手足口病	その名の通り、手のひらや足の裏に米粒ぐらいの水疱と口の中の粘膜に赤い水疱発疹ができます。
咽頭結膜炎(プール熱)	プールを介して流行することが多いのでプール熱とも呼ばれています。発熱、咽頭炎、急性結膜炎が主症状です。

東京都では、平成24年第28週(7/9~7/15)都内=260ヶ所の小児科の患者数が、1か所当たり=8.04人に上り(警報基準は5.0を超えた場合)、警報基準*を超えました。

過去10年間の中では、おとしに次いで多く成っています。患者の9割は=6歳以下の子どもで、中でも2歳どもが半数に上っています。



又、ヘルパンギーナと同じようにせきやくしゃみなどで感染し、口の中や手のひら、足の裏に発疹や水ぶくれができる「手足口病」の患者も増えているということです。東京都は、外出からの帰宅後の「うがい」や「手洗い」を徹底するとともに、子どもがぐったりしていたり、呼びかけに対する反応が鈍いなどの症状が現れたりした場合には、すぐに病院で診察を受けてほしいと呼びかけています。

ところで、既に子ども達は夏休み。そしてお盆休みはふるさととど、田舎をめざしで、大移動の季節が始まっています！！

もちろん、なぜか感染症も大移動(人が動けば当然ですね)してしまいます。

ちなみに、八雲総合病院では、

第29週(7/16~22日) 1名

第30週(7/23~29日) 6名

第31週(7/30現在) 4名 の発症者が受診されています。

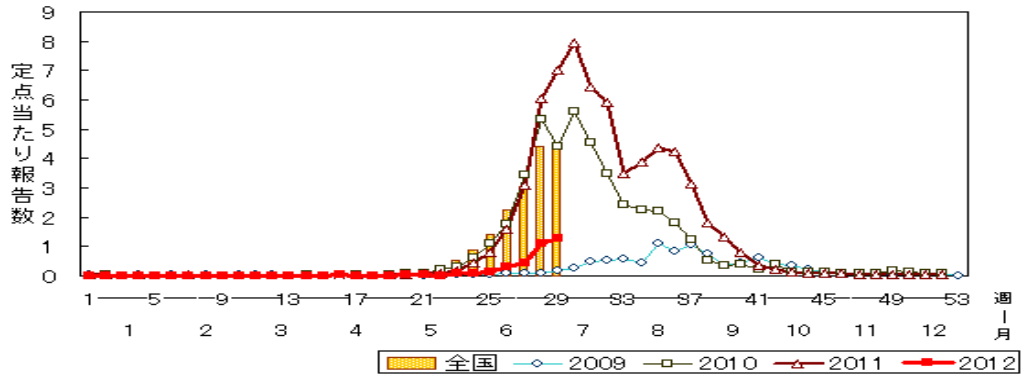
北海道、札幌などでも、徐々に発症者が増加しています。

ヘルパンギーナ-北海道

推移グラフ

推移グラフ

2012年第29週 [2012年7月16日から2012年7月22日]



区域	2012年第25週	2012年第26週	2012年第27週	2012年第28週	2012年第29週
全国	1.43人	2.27人	3.06人	4.42人	4.34人
北海道	0.15人	0.31人	0.43人	1.09人	1.28人
札幌市保健所管内	0.38人	0.41人	0.97人	2.00人	2.22人
小樽市保健所管内	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	2.50人
市立函館保健所管内	0.00人	0.00人	0.14人	1.29人	1.14人
江差保健所管内	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.50人
渡島保健所管内	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.75人
八雲保健所管内	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人

感染対策をしっかりとしないと、夏休みの絵日記には、なぜか病院のベッドで、点滴のボトルを眺めている、寂しい絵になっちゃいますよ！！



YICブログの合い言葉 【手洗いとうがいをしっかりやりましょう】

ちなみに暑い夏の脱水症や熱中症にもご用心です！こまめな水分補給と暑さ対策を！（節電が叫ばれていますが、健康を害しない程度で！）
水分の補給情報は、YIC-net [ORS情報まで](#)

YIC-Net 山田